

お知らせ

令和7年8月5日



資料提供先：大田記者クラブ
江津記者クラブ

道路改良工事で無人バックホウを^{えんかく}遠隔操作 ～山陰道^{ふくみつ あさり} 福光・浅利道路の現場で見学会開催～

山陰道 福光・浅利道路で、作業の効率化・省人化を目指すi-Construction2.0(別紙1.2参照)の取り組みとして、2.5km離れた所から無人のバックホウを遠隔操作して掘削土を土質改良機に投入する試行工事の現場見学会を開催します。

開催日時：令和7年8月19日(火) 9:30～12:00

開催場所等：【集合場所】(遠隔操作室)・・・島根県^{ごうつ うしろじ}江津市後地町地内
(工事現場)・・・島根県^{おおだ ゆのつ}大田市温泉津町地内

※詳細は(別紙3.4.5.6参照)

※工事現場は遠隔操作室のモニターから確認できますが、工事現場をご案内することも可能です。

参加予定者：島根県西部の国、県、市、建設業協会

■ 連絡事項

- ① 現地の誘導員に従い走行・駐車してください。
- ② 荒天が予測される場合は事前に中止・延期についてお知らせします。
- ③ 当日取材を希望される方は、事前に担当まで御連絡ください。

<お問い合わせ先> 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所

副所長(道路) ^{しょうじ あきら} 庄司 彰

(担当) 工務課 専門調査官 ^{いしかわ としやす} 石川 俊康

TEL 0855-22-3147 (工務課 直通)

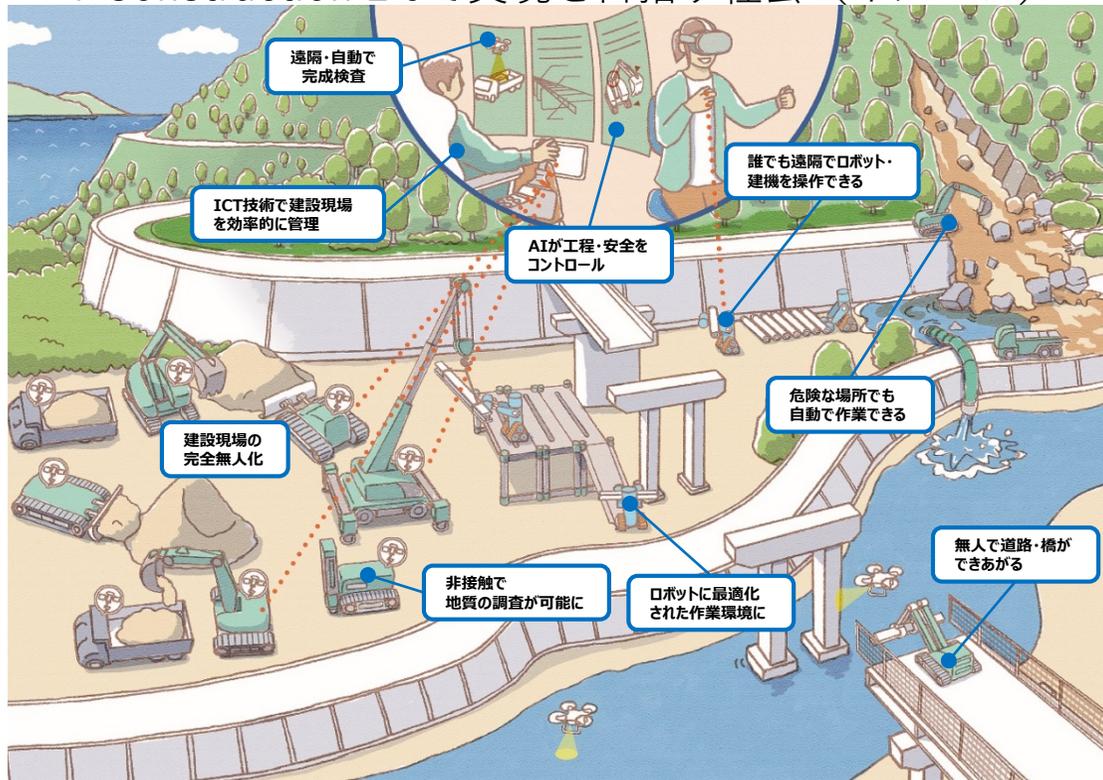
URL <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>



浜田河川国道事務所
公式 X (旧 Twitter)

- 建設現場の生産性向上の取組であるi-Constructionは、2040年度までの建設現場のオートメーション化の実現に向け、i-Construction 2.0として取組を深化。
- デジタル技術を最大限活用し、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場を実現。
- 建設現場で働く一人ひとりの生産量や付加価値を向上し、国民生活や経済活動の基盤となるインフラを守り続ける。

i-Construction 2.0で実現を目指す社会 (イメージ)



第5期技術基本計画を基に一部修正

i-Construction 2.0：建設現場のオートメーション化に向けた取組 (インフラDXアクションプランの建設現場における取組)

i-Construction 2.0 で2040年度までに 実現する目標

省人化

- ・人口減少下においても持続可能なインフラ整備・維持管理ができる体制を目指す。
- ・2040年度までに少なくとも省人化3割、すなわち生産性1.5倍を目指す。

安全確保

- ・建設現場の死亡事故を削減。

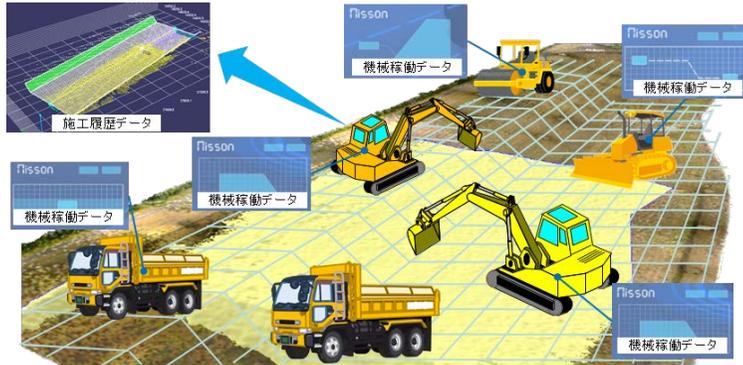
働き方改革・新3K

- ・屋外作業のリモート化・オフサイト化。

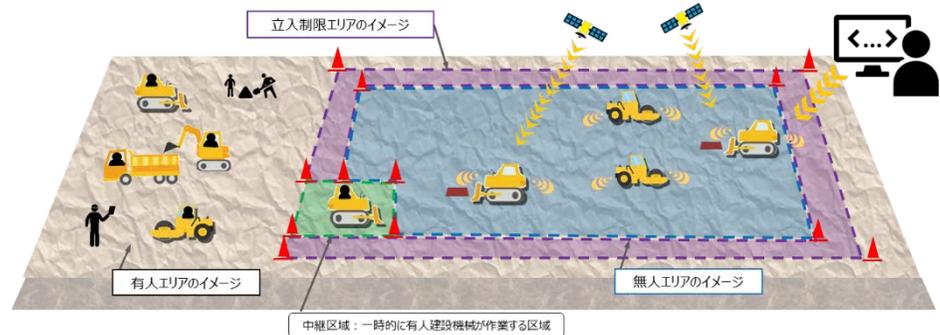
○ 建設現場をデジタル化・見える化し、建設現場の作業効率の向上を目指すとともに、現場取得データを建設機械にフィードバックするなど双方向のリアルタイムデータを活用し、施工の自動化に向けた取組を推進する。

- 【短期目標】 現場取得データをリアルタイムに活用する施工の実現
- 【中期目標】 大規模土工等の一定の工種・条件下での自動施工の標準化
- 【長期目標】 大規模現場での自動施工・最適施工の実現

現場↔建機の双方向でリアルタイムデータ活用



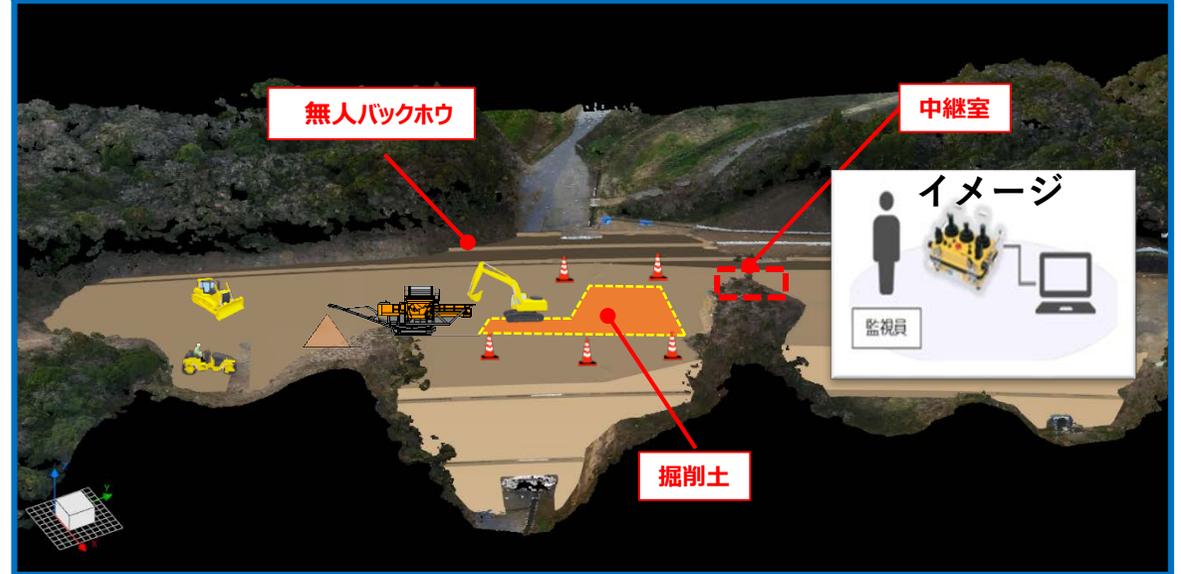
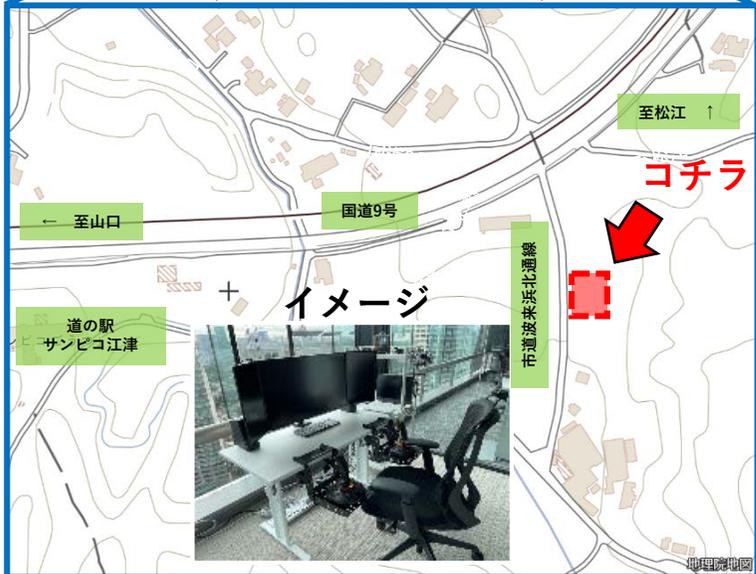
自動施工の導入拡大に向けた基準類の策定



<ロードマップ>

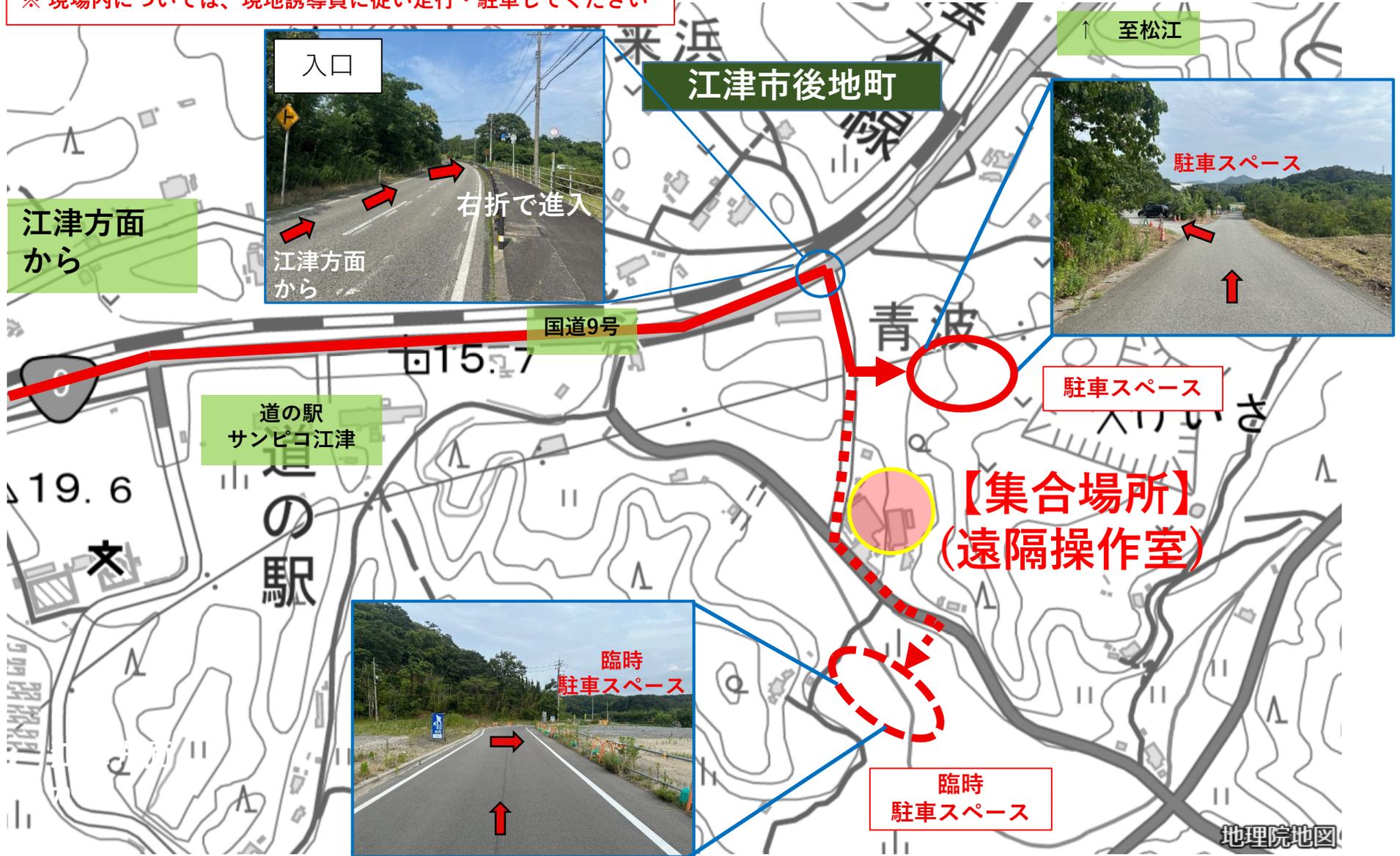
	短期 (今後5年程度)	中期 (6~10年後程度)	長期 (11~15年後程度)	実現
自動施工	安全ルール、施工管理要領等の技術基準類の策定	ダム施工現場等での導入拡大	大規模土工現場での導入試行	大規模現場での自動施工の実現
遠隔施工	砂防現場における活用拡大	通常工事における活用拡大		
施工データの活用	データ共有基盤の整備 (土砂運搬など建機効率化)	施工データを活用した施工の最適化	AIを活用した建設現場の最適化	
				最適施工の実現

遠隔バックホウ 活用範囲図



案内図【集合場所】(遠隔操作室)

※ 現場内については、現地誘導員に従い走行・駐車してください



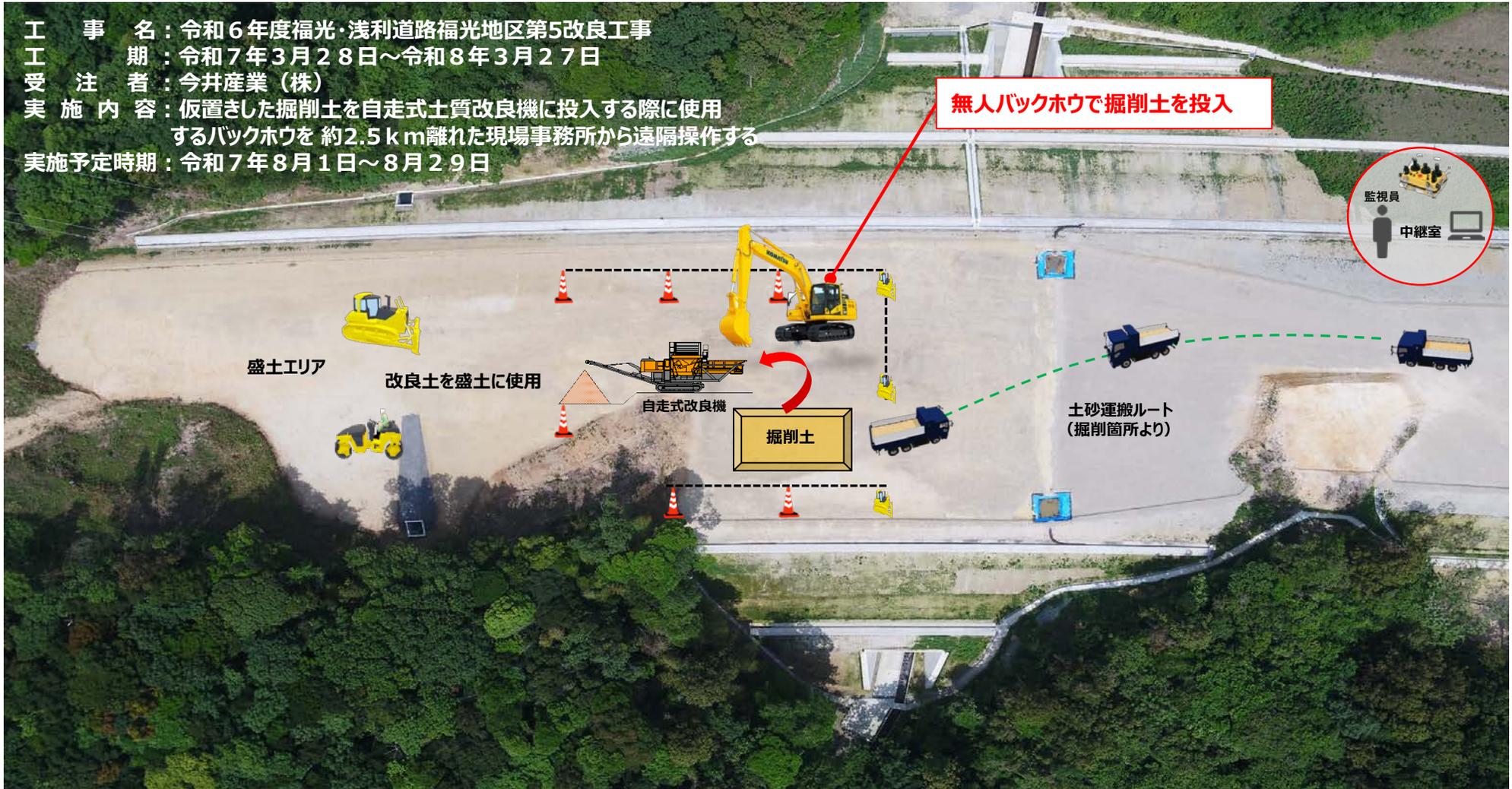
案内図 (工事現場)

※ 現場内については、現地誘導員に従い走行・駐車してください



遠隔バックホウ配置イメージ

工 事 名 : 令和 6 年度福光・浅利道路福光地区第5改良工事
工 期 : 令和 7 年 3 月 2 8 日 ~ 令和 8 年 3 月 2 7 日
受 注 者 : 今井産業 (株)
実 施 内 容 : 仮置きした掘削土を自走式土質改良機に投入する際に使用
するバックホウを 約 2.5 km 離れた現場事務所から遠隔操作する
実施予定時期 : 令和 7 年 8 月 1 日 ~ 8 月 2 9 日



無人バックホウで掘削土を投入

監視員

中継室

盛土エリア

改良土を盛土に使用

自走式改良機

掘削土

土砂運搬ルート
(掘削箇所より)